

Animal 2011

2011 年度 日本動物心理学会・日本動物行動学会・
応用動物行動学会・日本家畜管理学会合同大会

第 1 号通信

2010 年 12 月 吉日

ご挨拶

気候不順の折、各学会の会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、来年度は初めての試みとして、日本動物心理学会、日本動物行動学会、応用動物行動学会、日本家畜管理学会の 4 学会共催の学術大会を *Animal 2011* として慶應義塾大学で開催する運びとなりました。この間、この新たな取り組みを支持、応援して下さった各学会会員の方々に深く御礼申し上げます。

考えてみますと、動物の行動に関わるこれらの学会が一同に会することがなかったことがむしろ不思議に思えます。私の出身母体である日本動物心理学会は戦前からある古い学会ですが、発足当時は心理学研究者、動物学研究者の混成で、使われる動物種もかなり多岐にわたっていたようです。やがて、心理学分野では特定の実験動物のモデルによる心理学一般理論の構築が主流になり、動物そのものの研究や種差、進化といった問題はあまり扱わない時代がありました。その後、社会生物学、行動生態学、比較認知科学、進化心理学などの発展を経て、異なる学会で類似のテーマを扱い、また研究技法を共有するようになって参りました。そして学会の共催という話題も何回か出ましたが、共催が具体化したのは日本学術会議の分科会で上田恵介先生と私が話し合ったのが契機になっています。しかし、振り返りますと、1995 年に雑誌「イマーゴ」の特別企画で日本動物行動学会の日高先生と私が「日高敏隆 + 渡辺茂」という対談を行い、その時に「学会の共催もしたいね」というお話をした記憶があります。今回は 17 年ぶりにお約束を果たせたことにもなります。

Animal 2011 では単に時間と場所を共有するだけでなく、プログラム全体を融合させるという試みを行います。各学会の会長はもとより、事務局やプログラム委員に多くの負担をかけることとなりますが、全員この初めてのチャレンジに胸を熱くしています。幸い 2011 年には慶應義塾三田キャンパスの新校舎が完成いたします。新たな場所で新たな学問の饗宴を楽しみたいと思います。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

合同大会長・日本動物心理学会第 71 回大会長
渡辺 茂（慶應義塾大学文学部）

1 大会名称

Animal 2011 : 2011 年度 日本動物心理学会・日本動物行動学会・応用動物行動学会・日本家畜管理学会合同大会

2 大会長

合同大会長・日本動物心理学会第 71 回大会長

渡辺 茂 (慶應義塾大学文学部)

日本動物行動学会第 30 回大会長

上田 恵介 (立教大学理学部)

応用動物行動学会 2011 年度秋期研究発表会会長

近藤 誠司 (北海道大学大学院農学研究科)

日本家畜管理学会 2011 年度秋期研究発表会会長

田中 智夫 (麻布大学獣医学部)

3 会期・会場

会期 : 2011 年 9 月 8 日(木)~11 日(日)

会場 : 慶應義塾大学三田キャンパス (〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45)

アクセスについては大会ウェブページ (下記)を御覧ください。

4 大会行事

大会企画公開シンポジウム、プレナリーレクチャー、学会合同企画シンポジウム、公募ワークショップ (自由集会、ラウンドテーブル)、編集委員会、常任理事会、理事会、総会、懇親会を予定しています。大会行事の詳細は、第 2 号通信および大会ウェブサイトでお知らせ致します。

公開シンポジウム「イヌを学ぶ、イヌに学ぶ」(仮題)

2011 年 9 月 11 日 (日) 開催の予定です。詳細が決まり次第お知らせ致します。

プレナリーレクチャー

Nicola S Clayton 教授 (University of Cambridge)、Marian S Dawkins 教授 (University of Oxford)両氏の講演を予定しています。

5 研究発表

口頭発表とポスター発表を予定しております。発表申し込みの際に、どちらかを選択していただきます。発表要領の詳細は第 2 号通信でお知らせ致します。

口頭発表 : 15 分 (12 分発表+3 分質疑)

ポスター発表 : A0 サイズ (841mm×1189mm)まで

6 発表資格

主発表者は年度会費を納めた、四学会のいずれかの学会員であることが要件となります (学部

学生の資格については下記参照)。発表申し込み時に、発表者の所属学会、および会員/非会員/学部学生の別を選択してください。特に、今大会は合同大会のため、発表資格が各学会でルールが異なるためご注意ください。

(1) 複数の学会に属する会員による発表

複数学会に所属する参加者が、主発表者として各所属学会から1件ずつ発表することは原則可能です。ただし、スロット数に限りがある為、1名につき主発表者として1件の発表にまとめていただくことを奨励いたします。ただし、公募ワークショップはこの限りではありません。

(2) 学部生の発表について

発表申し込み時、会員資格選択項目において『学部学生』を選択してください。

日本動物心理学会：責任発表者の連名が必要、かつ責任発表者1名につき学部発表1件まで
 日本動物行動学会・応用動物行動学会・日本家畜管理学会：本人が会員であれば可能

7 奨励賞

若手研究者の優れた発表に対し賞を授与します。本大会では、学会終了後に発表される各学会優秀発表賞の他に、学会期間中に発表される本大会限定の合同学会賞の選定を考えております。審査希望者は別途申し込みが必要となるエントリー方式を予定しております。詳細については第2号通信でお知らせいたします。

8 参加・発表申込

大会ウェブサイトからの発表・参加申し込みおよび発表要旨登録は、2011年3月中開始予定です。

9 参加費・懇親会費

郵便振込によりお支払いください。振込用紙は第2号通信に同封いたします。

*下記の表で、学生とは[学部生+大学院生]を対象といたします。

		一般	学生
大会参加費	事前登録	7000円	5000円
	当日参加	8000円	6000円
懇親会費	事前登録	6000円	3500円
	当日参加	7000円	4500円

10 スケジュール

	受付開始	受付締切
ラウンドテーブル・ 自由集会申し込み	2011年3月1日	2011年3月31日
参加事前登録・ 研究発表申し込み・要旨登録	2011年3月1日	2011年4月30日
参加費・懇親会費 事前振込	2011年3月1日	2011年5月31日

11 託児所

合同大会では託児所の設置を検討しております。参加申し込みの際に利用希望の調査を行う予定です。

12 第2号通信とプログラムの発送予定

大会2号通信は2011年3月、プログラムは8月中の発送を予定しております。

13 大会ウェブサイト

<http://www.saitama-med.ac.jp/medlinks/animal2011/index.html>

大会ポスターPDFをダウンロードできます。随時情報を更新いたします。

14 Animal2011に関する問い合わせ・連絡先

Animal2011 大会実行委員会

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内

メールアドレス：animal2011@psy.keio.ac.jp